

第2次枚方市食育推進計画 進捗状況確認表

【基本方向③】

事業	主な取組名	ライフステージ						事業概要	平成27年度の実績	平成28年度の実績	平成29年度の方向性	平成29年度の実績 (一部見直して実施する場合のみ記入)	担当課
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期							
1 地産地消の促進	学校給食における地元農産物の使用		●				学校給食で地元の農産物を取り入れられるよう、地元農産物の生産や調整を行います。	小学校給食で使用する野菜類については、市内生産者の協力を得て、枚方産を13品目20.8t使用しました。こうした中で、学校給食で使用する米・野菜類全体購入量に対する、枚方産及び府内産購入量の割合は、24.7%となりました。	小学校給食で使用する野菜類については、市内生産者の協力を得て、枚方産を16品目21t使用しました。こうした中で、学校給食で使用する米・野菜類全体購入量に対する、枚方産及び府内産購入量の割合は、24.7%となりました。	継続		農業振興課 学校給食課	
	農畜産物直販事業補助金交付事業	●	●	●	●	●	安全で新鮮な地元産の野菜を消費者に提供するため、農業者への指導や情報提供を実施します。	交付対象 ・団体数 9団体 ・開催場所 9ヶ所 ・開催回数 743回	交付対象 ・団体数 10団体 ・開催場所 10ヶ所 ・開催回数 829回	継続		農業振興課	
	イベント等における地元食材を使ったレシピの配布			●	●	●	イベントや料理教室において地元食材を使ったレシピを配布し市民への啓発を行います。	・配布数 約300部	・配布数 約200部	継続		保健センター	
2 農を身近に感じる取組	食農体験学習支援事業		●				学校での栽培活動体験や農地を借りての農業体験等を実施します。	・食農体験学習支援事業の実施 市内小学校 20校	農業と児童のふれあいを通して、「食」と「農」に対する理解を深めるため、小学生を対象に農業者の指導のもと、植付けから収穫までの農作業や、収穫した農作物の加工・調理・試食などの体験学習を実施しました。  ・食農体験学習支援事業の実施校 枚方市立小学校 17校	継続		教育指導課 農業振興課	
	市民ふれあい農園	●	●	●	●	●	市民が土に親しみ農作物を作る喜びを知り、農業を身近に感じることが出来るよう市民農園を開設します。	・市民ふれあい農園 農園数 33か所 開園面積 30,728㎡ 区画数 1,109区画 管理運営等委託者 JA北河内	・市民ふれあい農園 農園数 31か所 開園面積 27,451㎡ 区画数 981区画 管理運営等委託者 JA北河内	継続		農業振興課	
	農業ふれあいツアー	●	●	●	●	●	市内農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫する等の体験事業を実施します。	・農業ふれあいツアーの実施 開催回数 18回 参加人数 5,315人	・農業ふれあいツアーの実施 開催回数 20回 参加人数 4,814人	継続		農業振興課	
	農業まつり	●	●	●	●	●	農業まつりを開催し、農業者と都市住民の交流を図ります。	・農業まつりの開催 11月21日(土) 来場者数 3,000人	・農業まつりの開催 11月19日(土) 来場者数 3,000人	継続		農業振興課	
3 環境に配慮した食育の推進	学校給食ごみの分別化		●				給食の残菜の減量や生ゴミの堆肥化、給食ゴミの分別を推進します。	・生ゴミなどの堆肥化・活用 単独調理場10箇所において、生ゴミや残菜を堆肥化し、学校の花壇等で活用しています。 ・学校給食ででた空きびんやダンボールは、分別・リサイクルに取組んでいます。	・生ゴミなどの堆肥化・活用 単独調理場10箇所において、生ゴミや残菜を堆肥化し、学校の花壇等で活用しています。 ・H28年から移動した第一学校給食共同調理場では、生物流動床処理方式にて生ゴミや残菜を処理しています。 ・学校給食ででた空きびんやダンボールは、分別・リサイクルに取組んでいます。	継続		学校給食課	
	スマートライフ啓発事業		●	●	●	●	市民・事業者・行政との連携により、ごみを減らして環境にやさしい生活(スマートライフ)を普及・啓発し、焼却ごみ削減の取り組みを進めます。	・「手付かず食品」の削減キャンペーンの開催 (目的)賞味期限切れなどの理由でごみとして出されるや作りすぎ・食べ残しをしないなど 年間 約11,029人に啓発。	・「手付かず食品」の削減キャンペーンの開催 (目的)賞味期限切れなどの理由でごみとして出されるや作りすぎ・食べ残しをしないなど 年間 約12,942人に啓発。	継続		減量業務室	
	生ごみたい肥化事業		●	●	●	●	NPOと協働し、段ボール箱やコンポスト容器、EM(有用微生物群)を使用した堆肥化事業や市民への講習会を開催し、生ごみの資源化に取り組めます	・コンポスト・EM容器を使った堆肥モニター 参加世帯数 合計50世帯 ・講習会の開催 段ボールを使用した堆肥化 開催回数 12回 受講者数 100人	・コンポスト・EM容器を使った堆肥モニター 参加世帯数 合計49世帯 ・講習会の開催 段ボールを使用した堆肥化 開催回数 12回 受講者数 74人	一部見直して実施	大型店舗等のキャンペーン実施にあわせて、生ごみ堆肥化方法のPRを予定。	減量業務室	
	エコレンゲ米生産支援事業	●	●	●	●	●	環境に優しい水稲種子の温湯消毒やレンゲ栽培米の普及促進に取り組めます。	・レンゲ種子数量(購入補助) 1,974kg	・レンゲ種子数量(購入補助) 2,004kg	継続		農業振興課	